



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2012年12月27日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第50回おきぎん企業動向調査」
(2012年10～12月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：喜瀬

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2013年1～3月期見通し)
 ～第50回おきぎん企業動向調査(2012年10～12月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

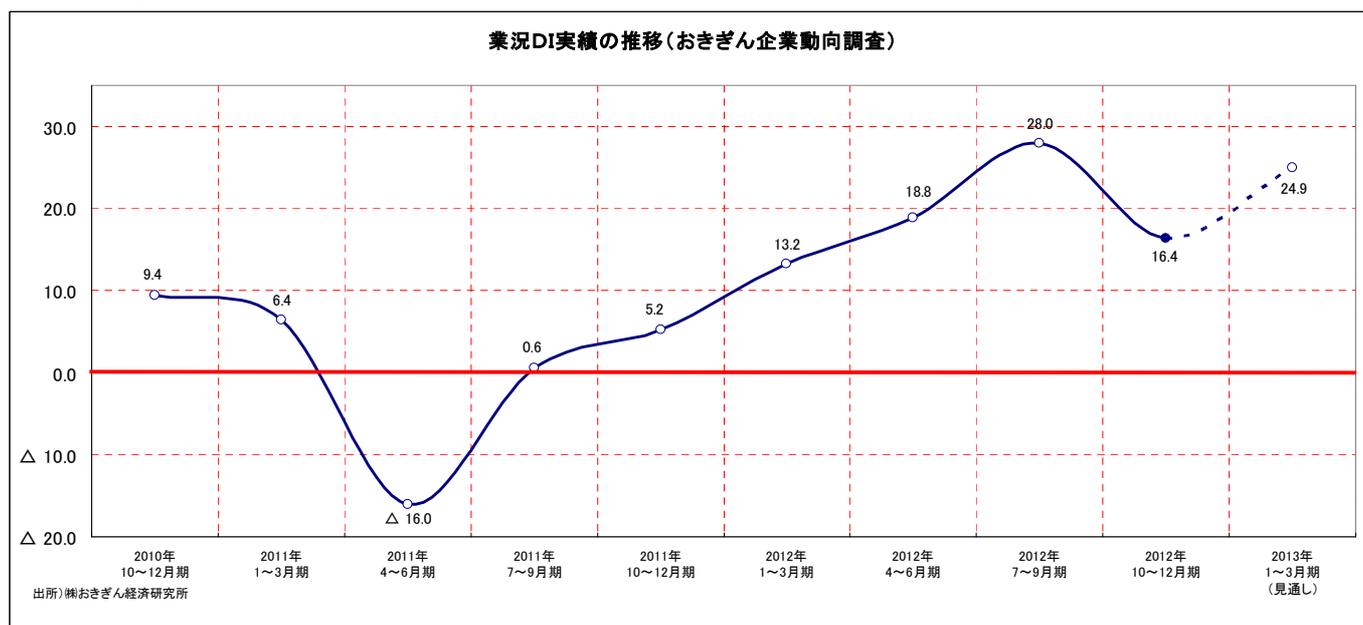
業況DIの推移

期間・結果	2011年		2012年				2013年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期(見通し)	
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI	
全業種計	5.2	13.2	18.8	28.0	16.4	24.9	
製造業	△ 2.0	4.1	2.0	23.4	21.7	34.0	
土木業	0.0	17.4	6.1	20.0	33.3	37.0	
建築業	14.7	5.8	11.8	18.3	22.2	27.1	
卸売業	△ 2.2	7.1	20.0	22.5	19.2	14.9	
小売業	7.9	27.9	26.8	43.3	20.0	15.4	
情報通信サービス業	37.5	50.0	27.3	25.0	0.0	25.0	
医療・福祉	29.6	33.3	17.6	25.0	20.0	23.3	
その他サービス業(宿泊・飲食等)	5.9	△ 5.6	43.2	20.6	△ 2.8	30.6	
その他(不動産、運輸等)	△ 3.9	15.6	20.8	38.8	7.8	28.1	

2012年10～12月期調査の業況DIは16.4(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【医療・福祉】、【その他】の業種で「業況改善の動き」がみられます。

2013年1～3月期の業況見通しDIについては24.9となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2012年11月下旬～12月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 460社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

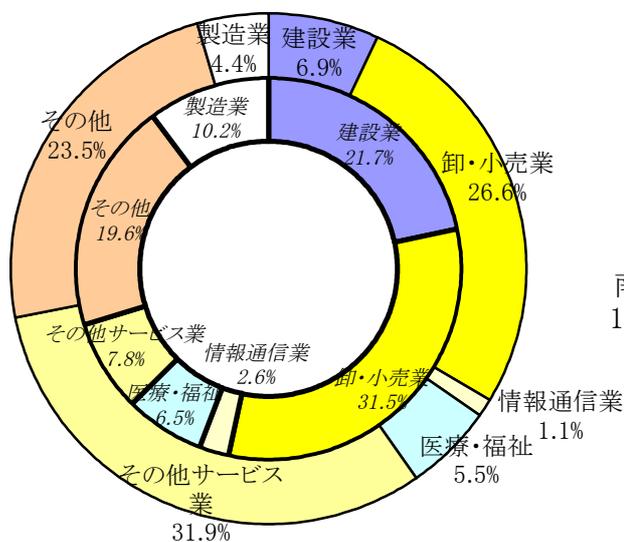
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

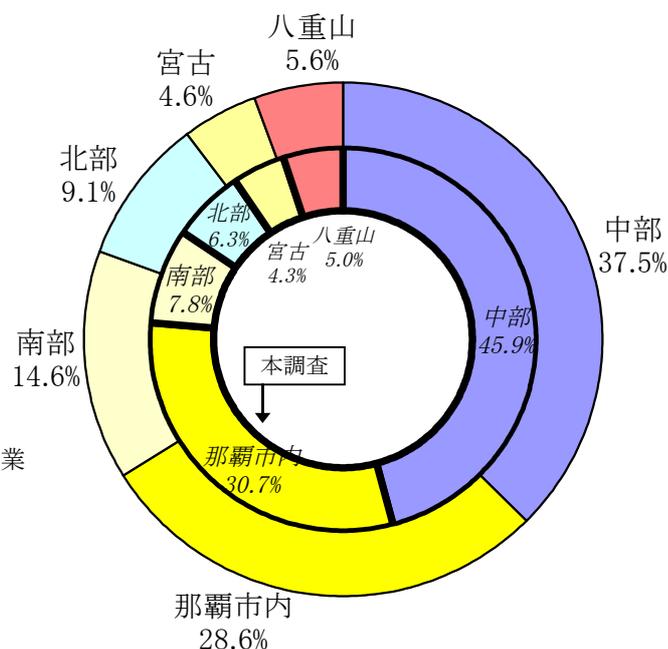
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2009年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



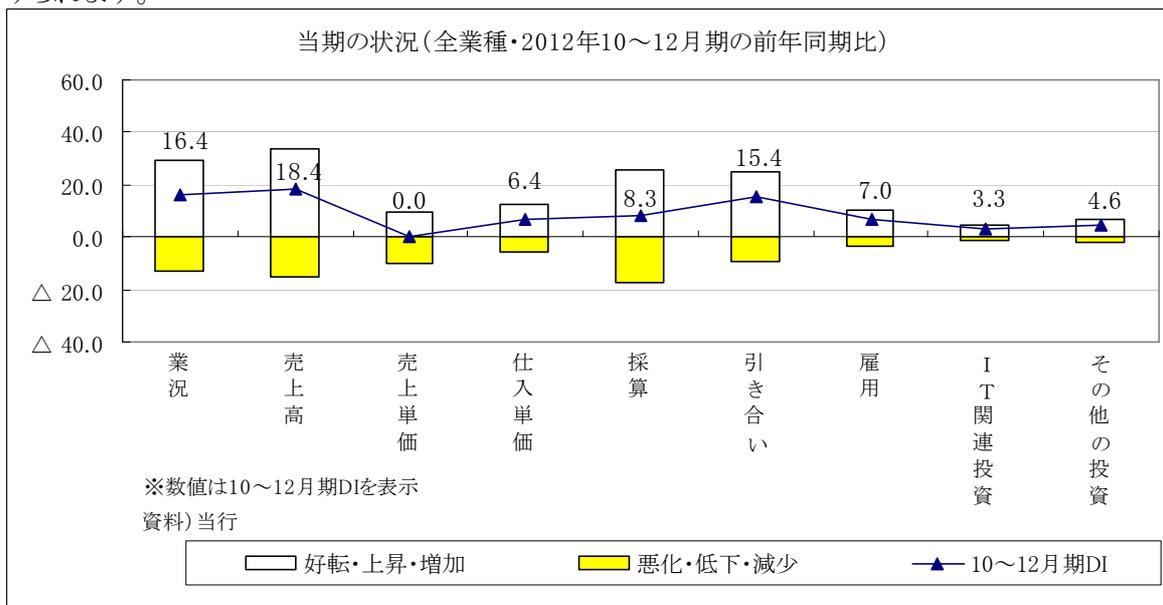
資料)総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

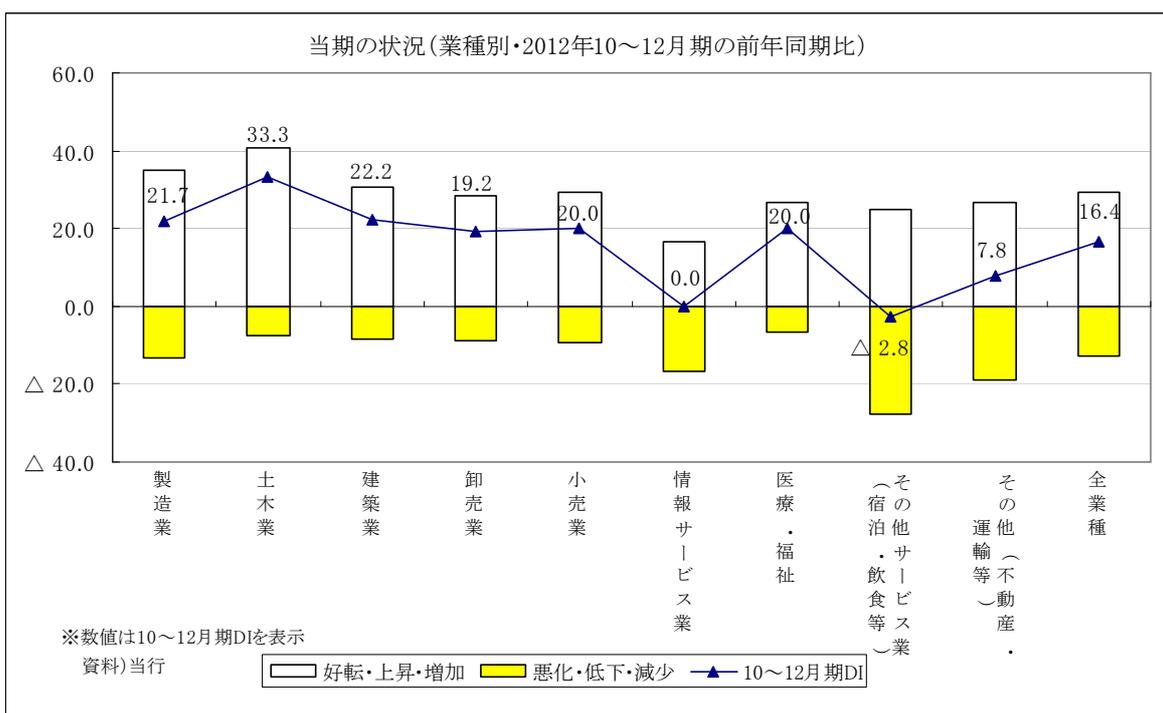
a. ①当期の状況(項目別・2012年10～12月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、一部で震災の影響がみられた前年同期と比較すると売上高(18.4)や引き合い(15.4)をはじめ、各分野で改善しています。一方で、売上単価(0.0)は、各業界の競争激化などを背景に伸び悩んでおり、横ばいとなっています。全体として業況(16.4)改善の動きがみられます。



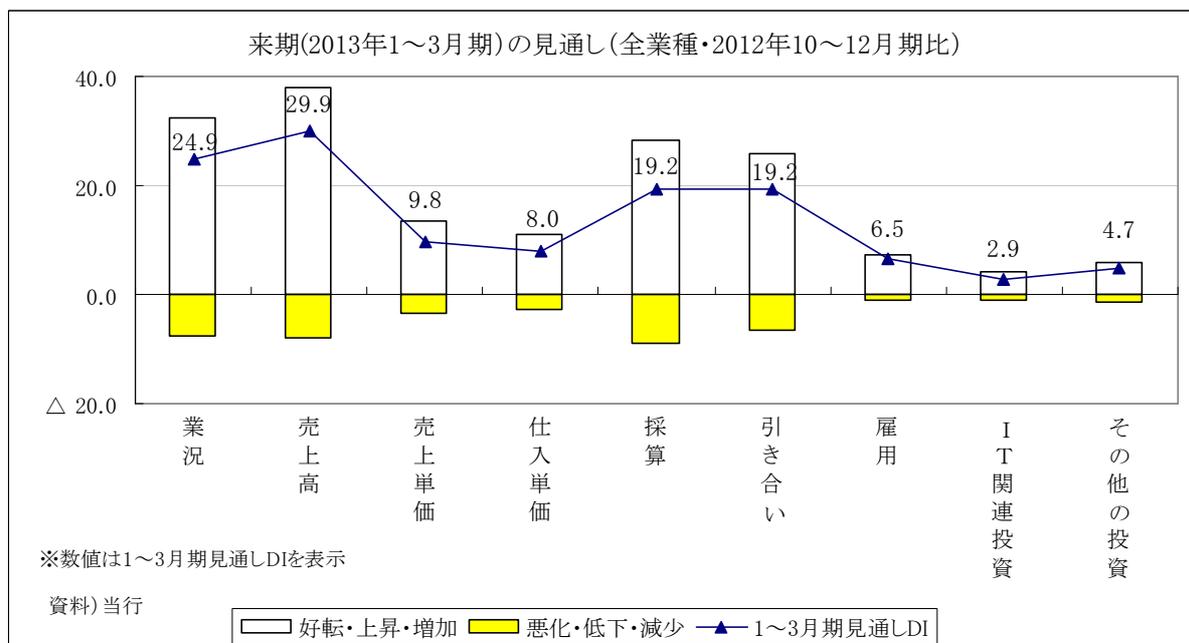
a. ②当期の状況(業種別・2012年10～12月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、一部震災の影響が見られた昨年に比べ、今期は公共工事受注が好調な【土木業】(33.3)、消費税増税前の駆け込み需要などで民間工事受注が好調な【建築業】(22.2)などが改善しています。多くの業種において、業況改善の動きとなりました。



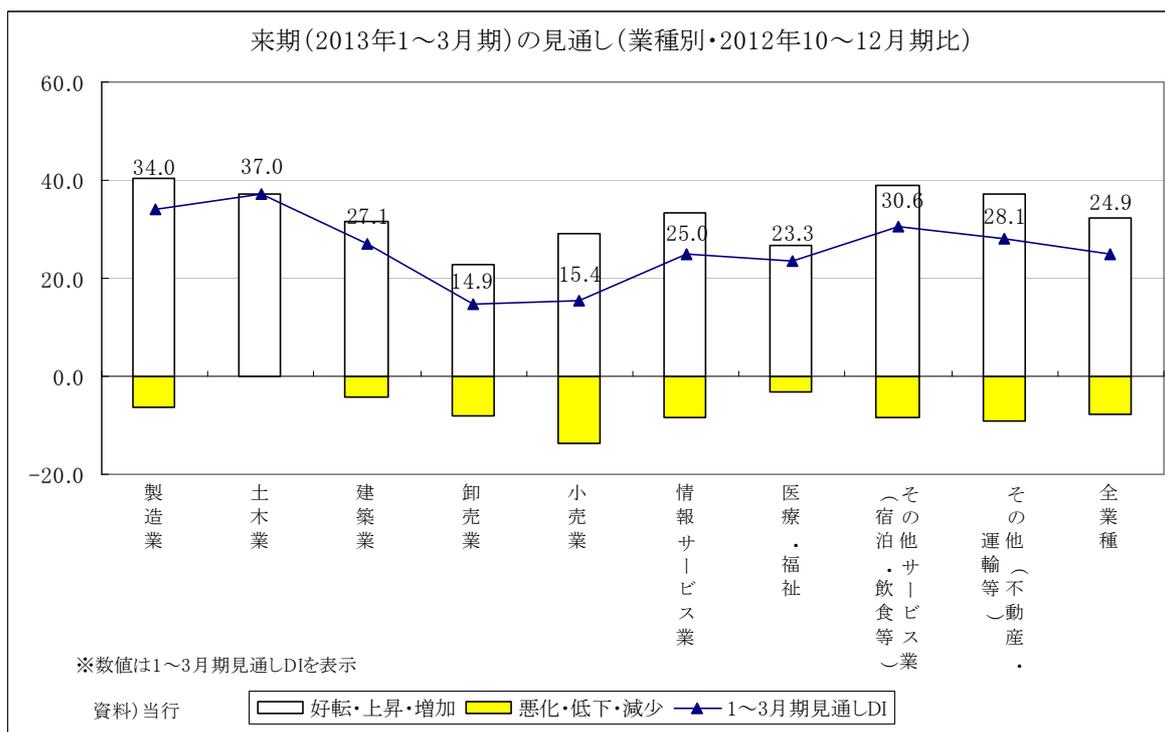
b.①来期の見通し(項目別・2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

来期(2013年1～3月期)の見通しDIを項目別でみると、年度末にかけての建設工事増加や季節的要因(年度末、イベント需要)による消費活発化が期待され、売上高(29.9)をはじめ、採算(19.2)、引き合い(19.2)など全項目でプラスとなり、全体(業況:24.9)として**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

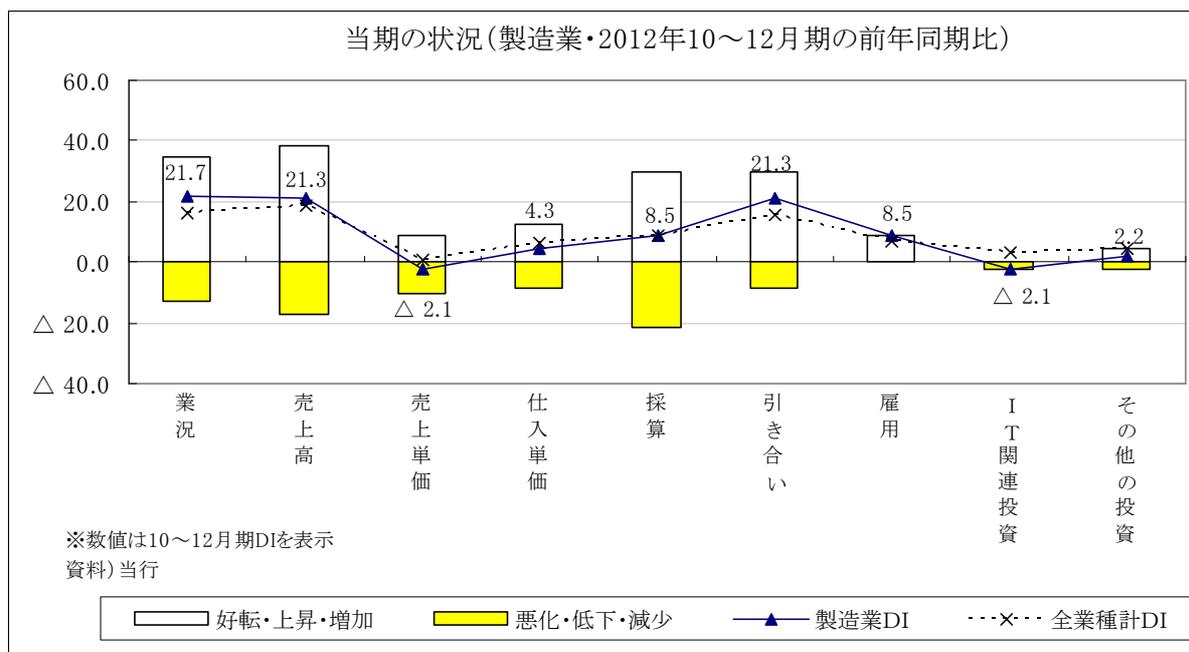
来期(2013年1～3月期)の見通しDIを業種別でみると、【**製造業**】(34.0)、【**土木業**】(37.0)、【**建築業**】(27.1)、【**その他サービス業**】(30.6)、【**その他**】(28.1)などが全体DIを上回る業況の強さを見込み、全ての業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

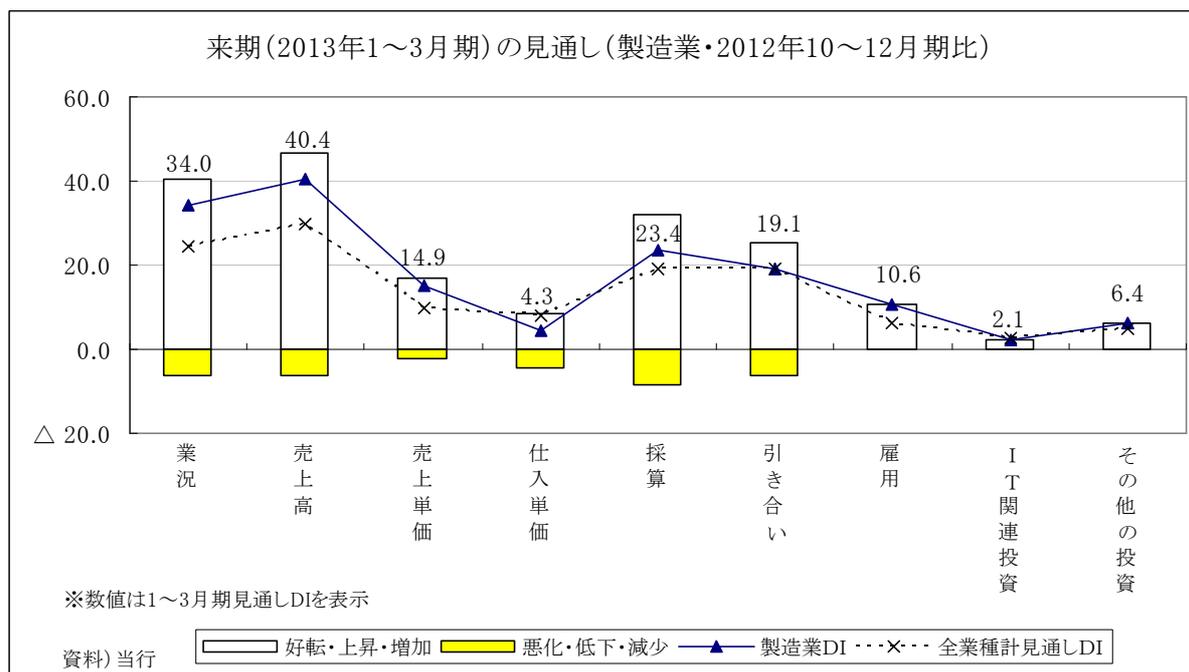
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【製造業】DIをみると、新商品発売などにより酒類製造業などで売上高(21.3)や引き合い(21.3)の改善が見られます。また、公共工事・民間工事の増加に伴い、生コン製造業においても業況の改善がみられます。一方で、価格面において業界内で競争が続いており、売上単価は下落しています。製造業全体としては業況改善の動きがみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

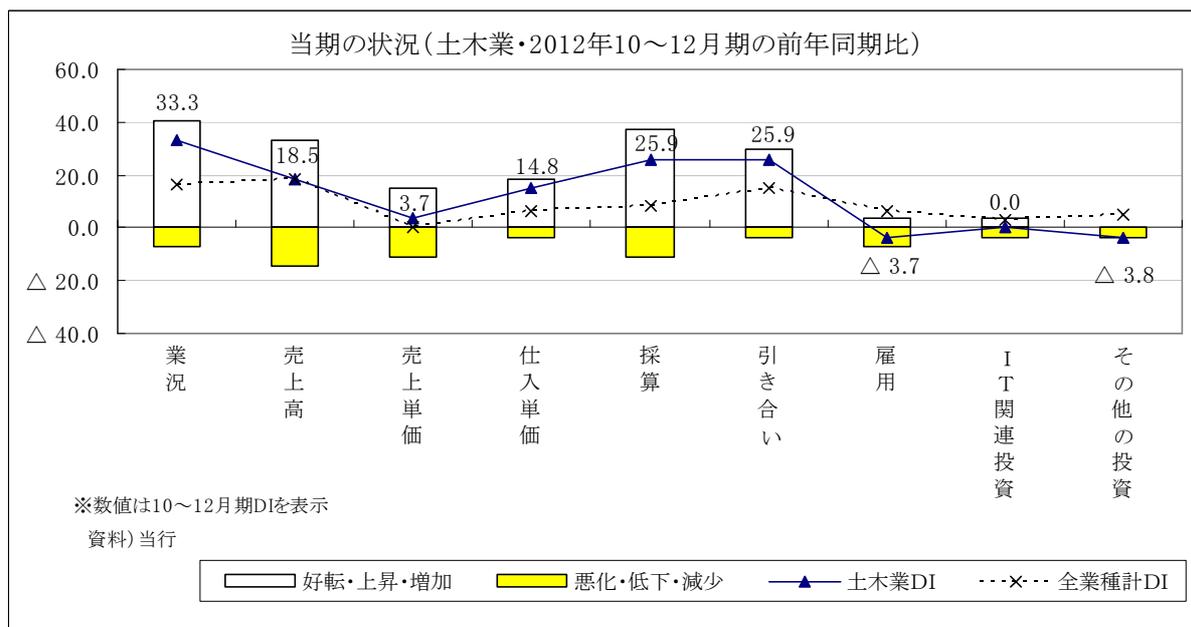
来期の見通し【製造業】DIをみると、食品製造業や泡盛製造業などで年始や年度末の食料品、酒類等の需要増加が期待され、売上高、引き合いともに改善を見込みます。また、採算性を意識した販路拡大や不採算部門の削減などの動きもみられ、採算の改善も見込まれます。製造業全体として業況改善の動きがみられます。



3. 土木業

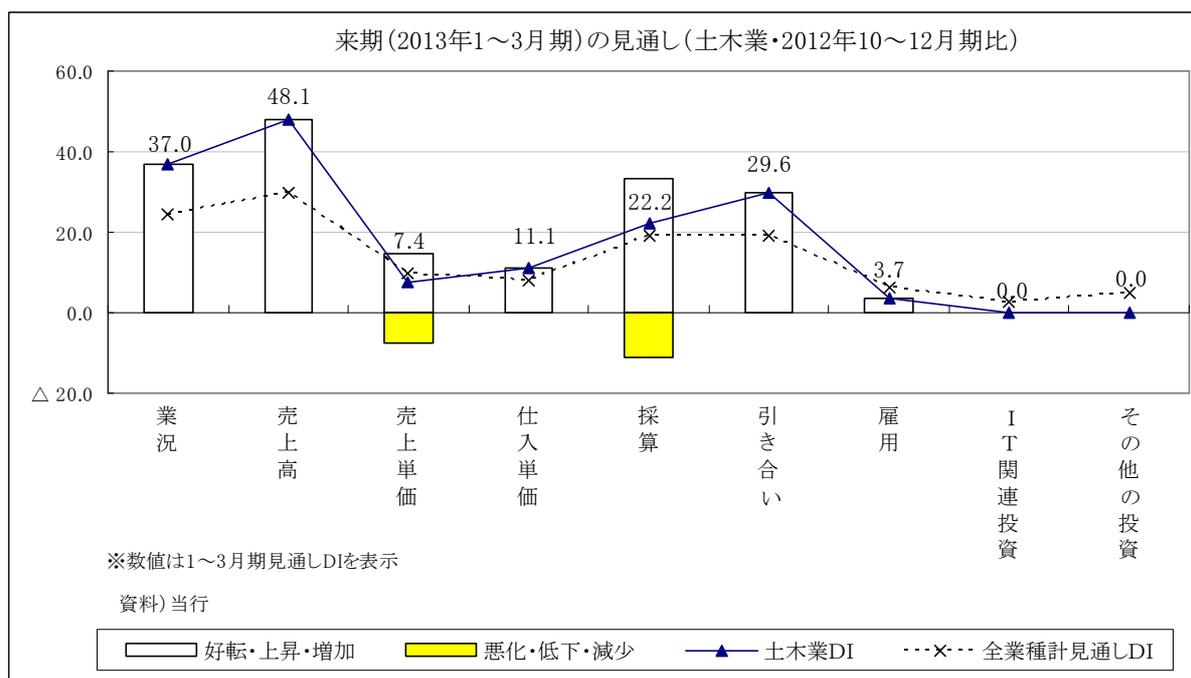
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事の受注増加などにより引き合いの強さがみられ、売上高や採算についても改善しています。一方、依然として厳しい競争環境が続いていることから、売上単価は僅かな改善となっているほか、一部の事業者では経費削減や経営効率化のため、雇用の減少もみられます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

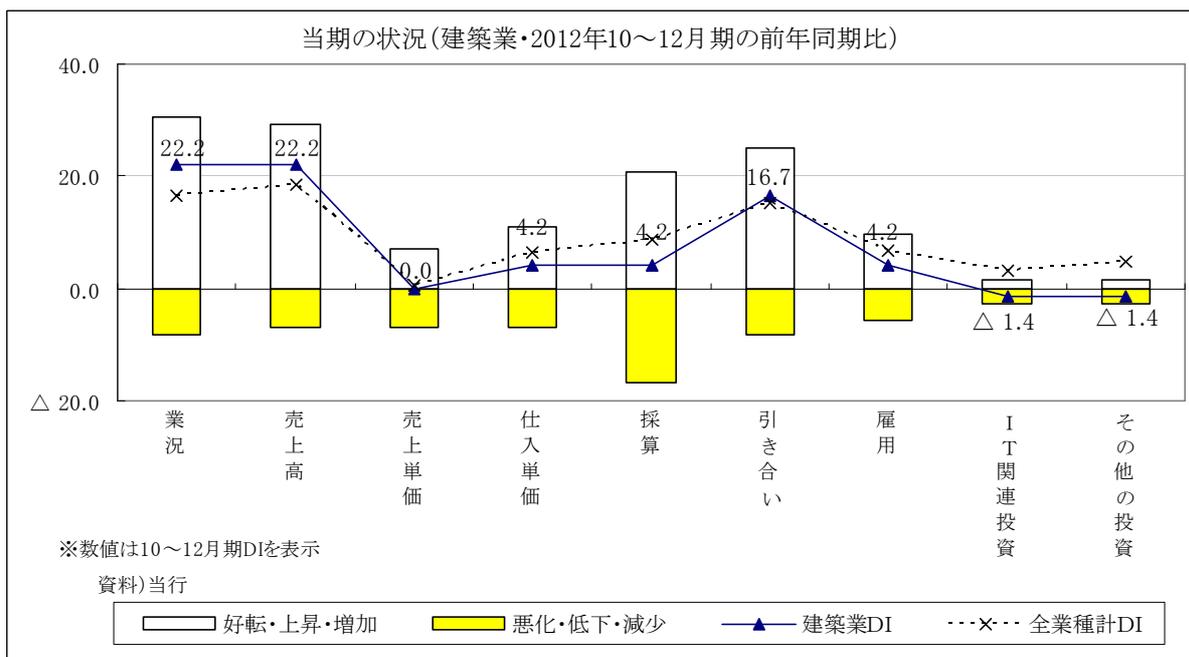
来期の見通し【土木業】DIをみると、年度末にかけて公共工事の発注が増加するものと見込まれ、売上高や引き合い、採算の大幅な改善が期待されます。さらに、基地関連工事などの安定的な受注を見込む声もあり、土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



4. 建築業

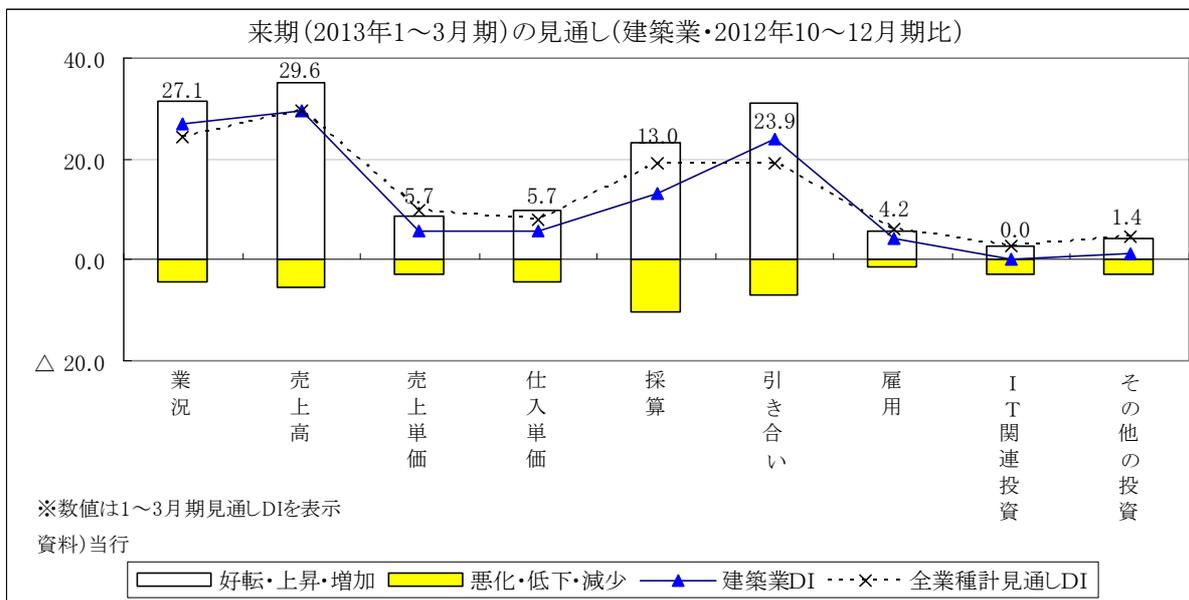
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、消費税増税を見越した住宅やアパート等の民間工事の引き合いが増加しており、売上高、採算ともに改善しています。太陽光設備設置工事や基地関連工事などの需要も堅調で、公共工事についても引き合いが増加している事業者もあることから、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

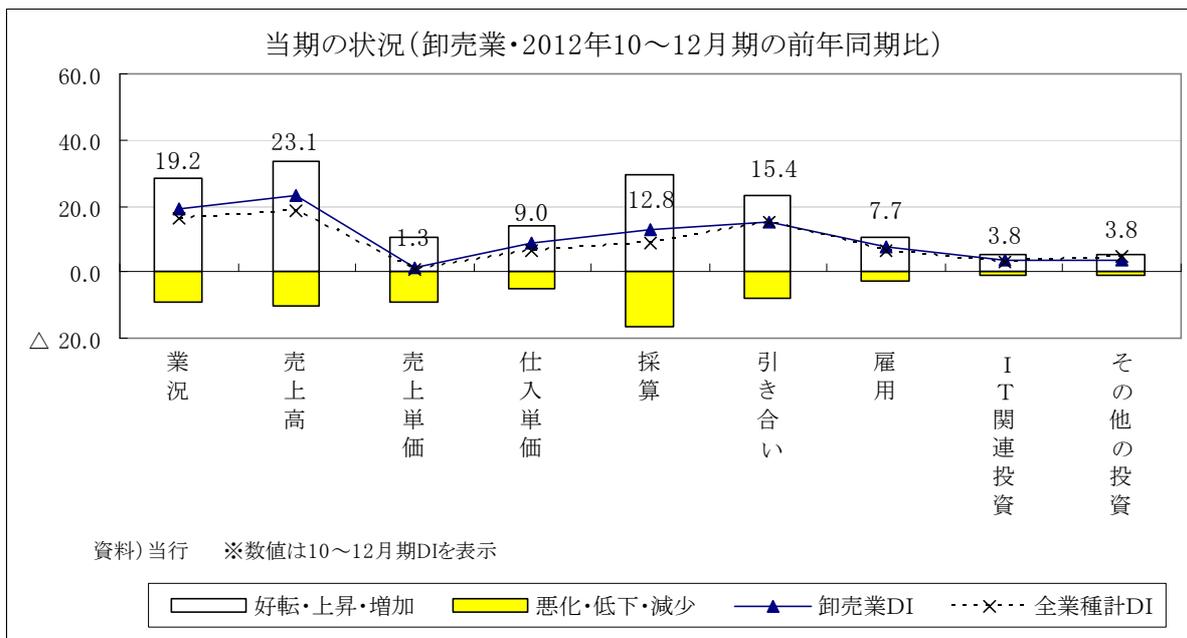
来期の見通し【建築業】DI をみると、土木業同様に年度末にかけて公共工事の増加が期待されます。民間工事においても、引き続き消費税増税を見越した住宅・アパートなどの引き合いの強さが見込まれます。太陽光設備関連工事では、「固定価格買取制度」における買取価格見直し前の駆け込み需要を見込む声もあり、**建築業全体として業況改善の動き**がみられます。



5. 卸売業

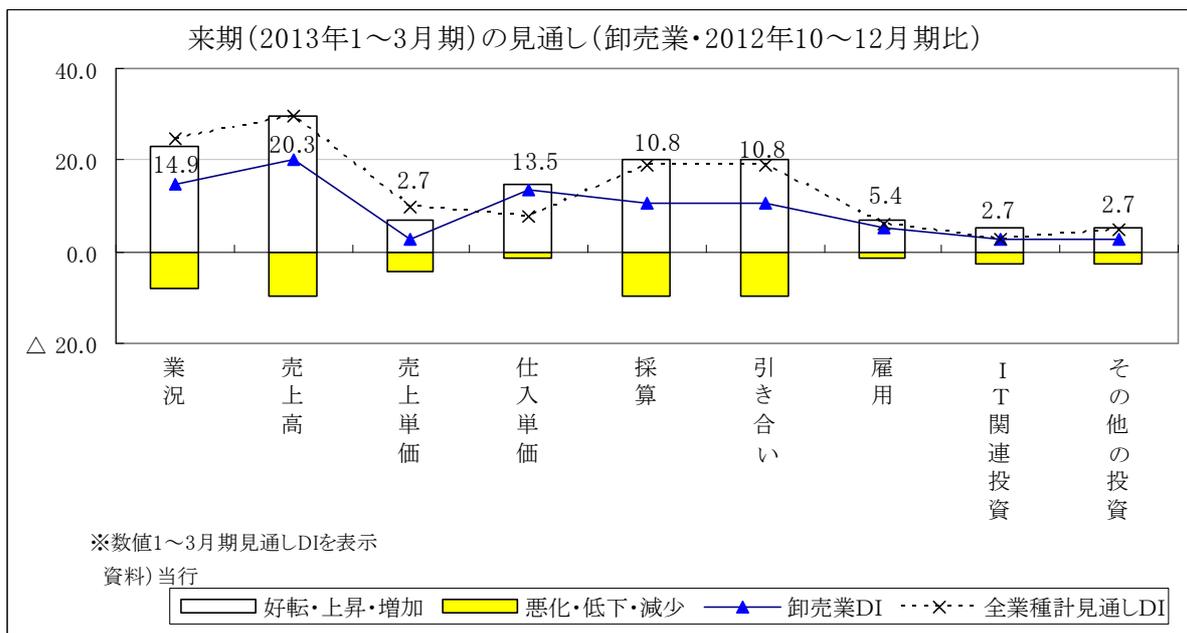
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【卸売業】DIをみると、民間工事の需要を背景に建設資材関連の引き合いが増加していることから、売上高、採算は改善しています。震災の影響があった前年に比べ仕入環境は安定しているものの、米穀業者などは依然として厳しい環境が続いており、仕入単価は増加しています。卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

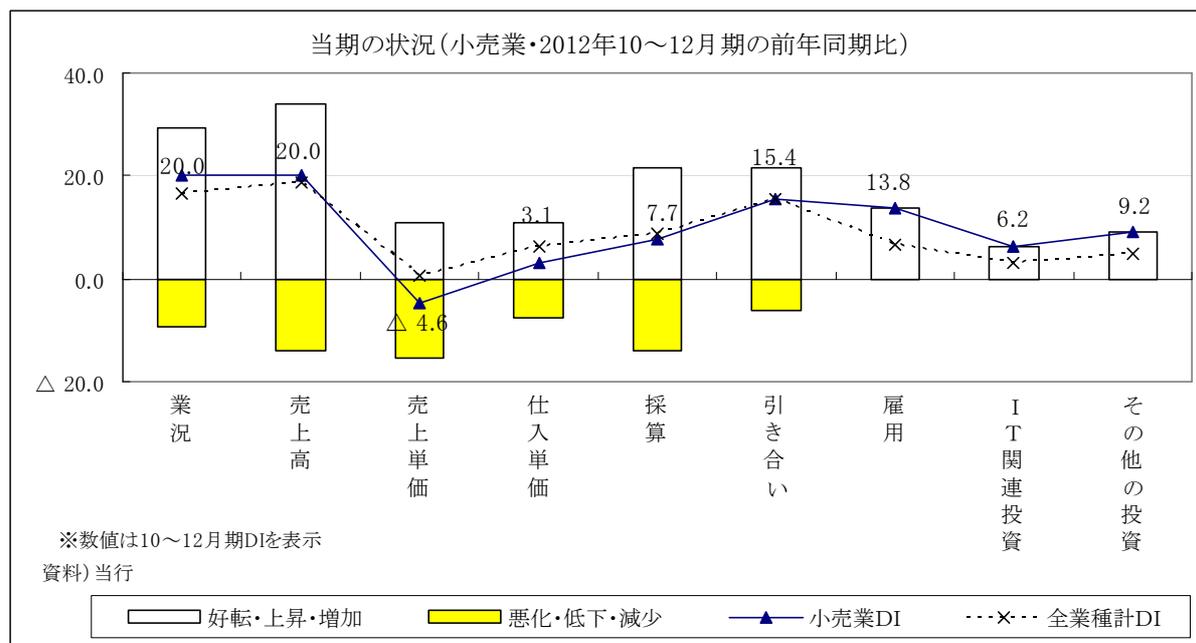
来期の見通し【卸売業】DIをみると、年度末に向けた公共・民間工事の需要に伴う資材の増加や、食品関連の需要増加が見込まれます。一方で、競争激化から仕入単価の上昇分を売上単価に反映しづらい環境にあることなどから、売上単価、採算は全業種のDIを下回っています。卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



6. 小売業

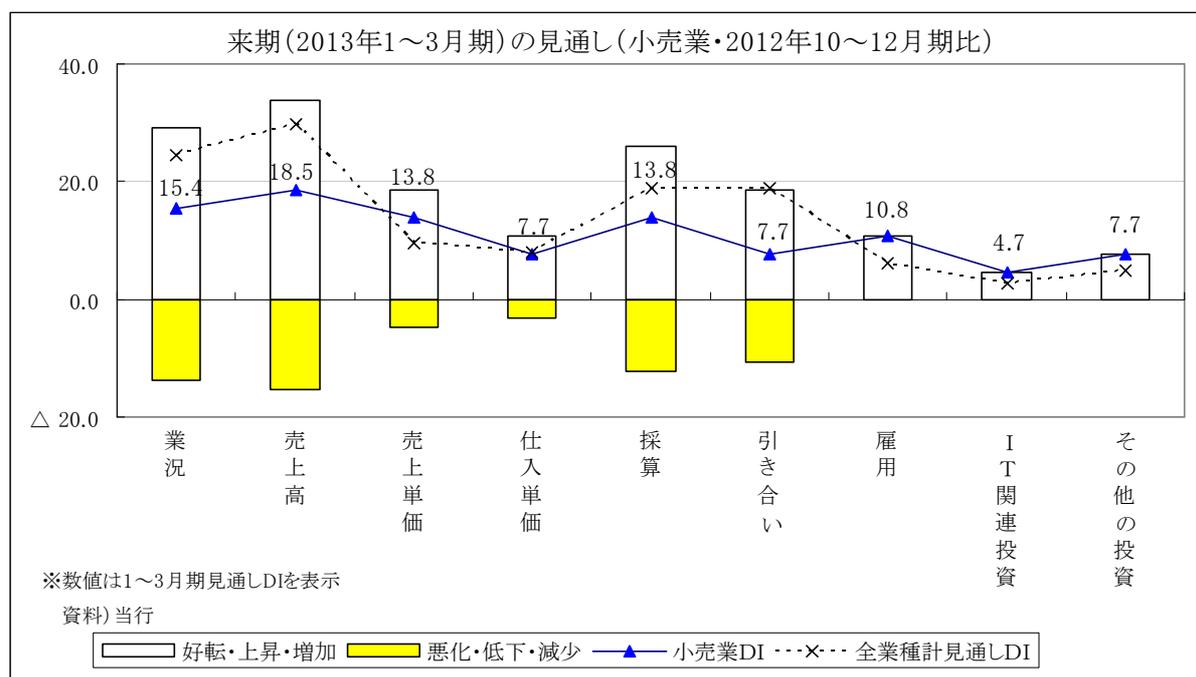
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、新規出店効果によりコンビニエンスストアが好調なほか、大型商業施設の出店により衣類、雑貨のテナント関連業者が好転し、雇用も増加しています。一方で、各業界の同業者との競争激化のほか、自動車販売業におけるエコカー補助金制度終了の影響なども加わり、売上単価の下落がみられます。小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

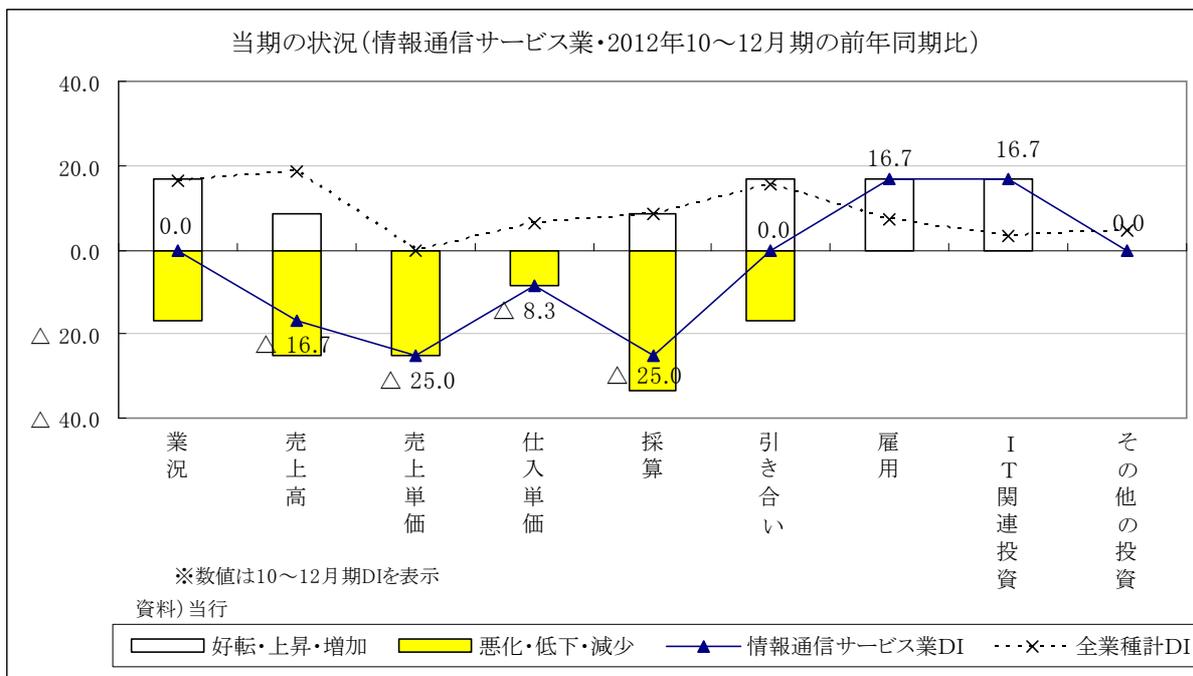
来期の見通し【小売業】DIをみると、新規出店効果や販路拡大などにより売上高や採算などの好転が期待されます。一方、自動車販売業界では、エコカー補助金制度終了による需要減少の影響から、業況の弱含みが予想されます。小売業全体では**業況改善の動き**がみられます。



7. 情報通信サービス業

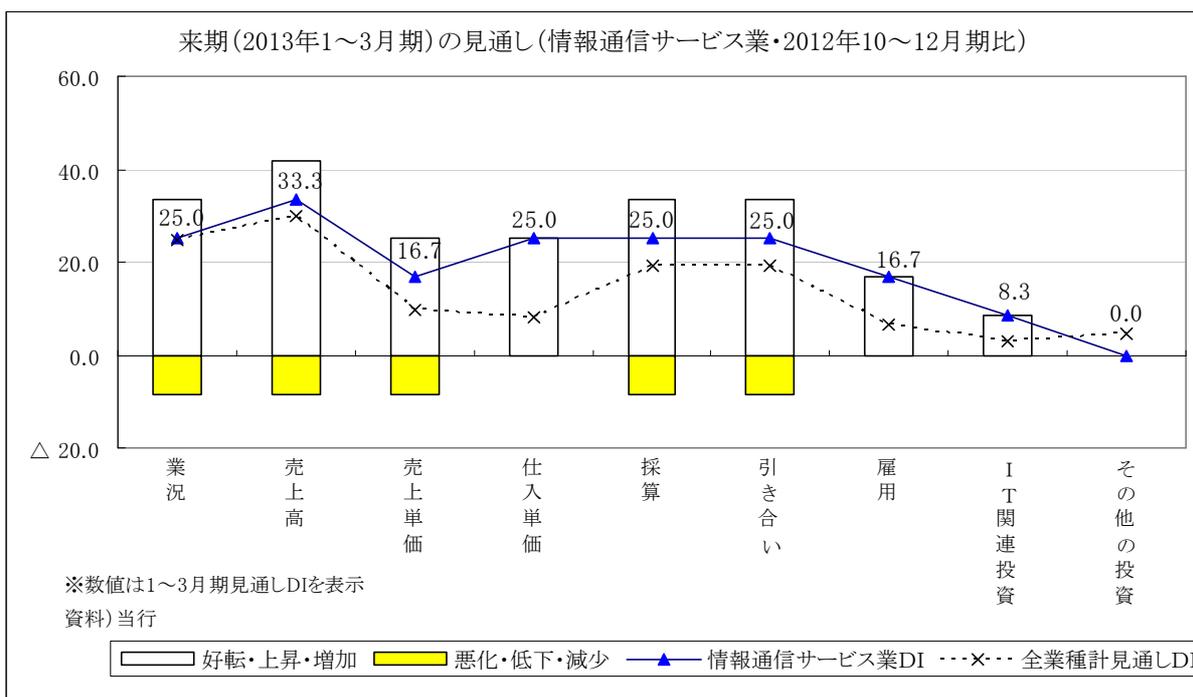
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、市町村・学校など防災関連システム導入の引き合いが堅調な一方で、業務の受注時期のずれなどもあり、売上高や採算は減少しています。スマートフォンの普及などを背景に需要の変化なども一部影響し、情報サービス業全体として**業況の弱さ**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

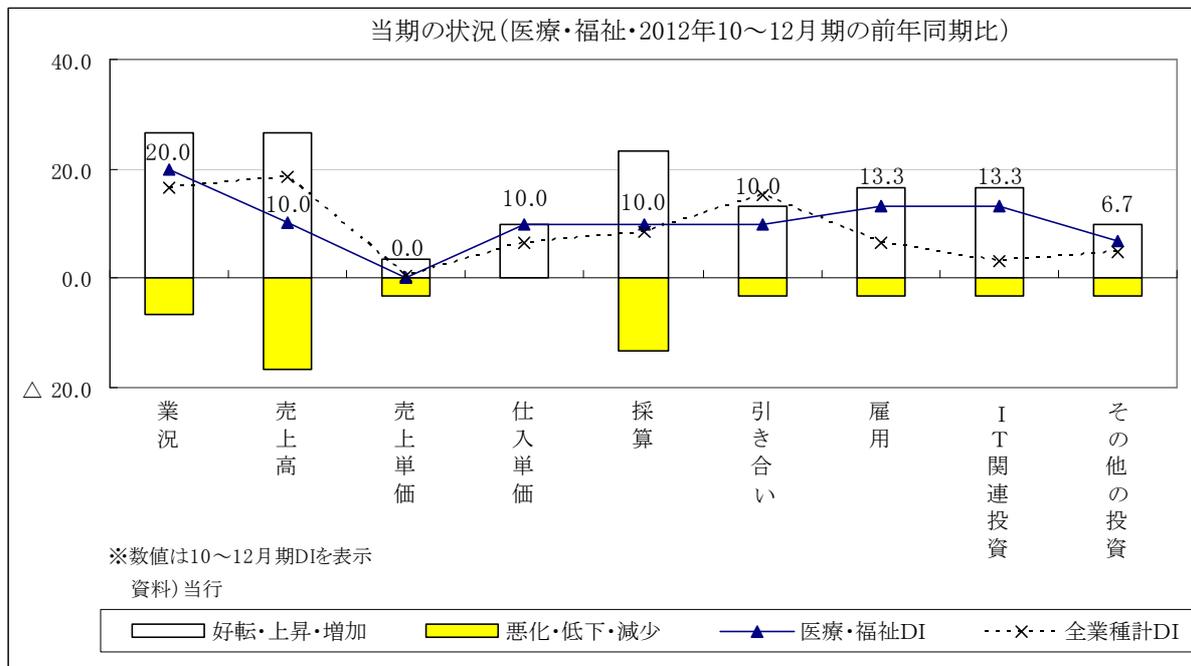
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、年度末に向けた設備更新などの需要から、受注増加が見込まれます。また、これまで中国の業者に発注されていた業務が、国内業者にシフトされる動きも一部あり、情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



8. 医療・福祉

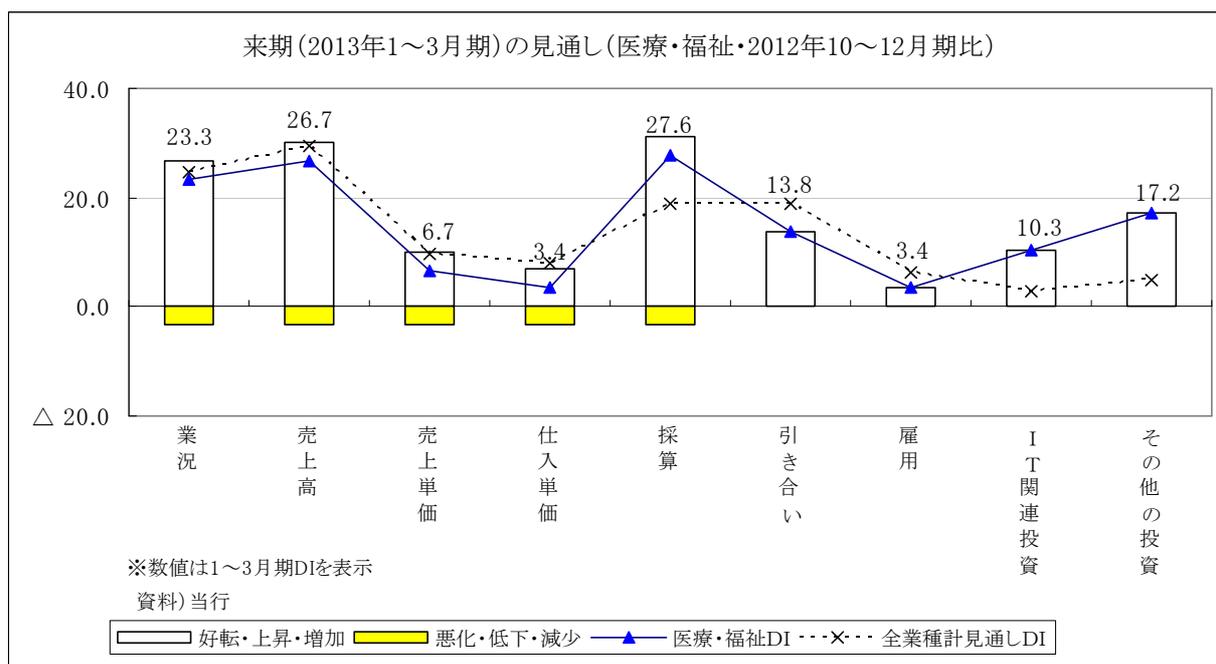
a. 当期の状況 (2012年10～12月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引続き堅調に推移しています。新たな診療所の開設や介護関連の事業拡大に伴う新施設稼働などにより、雇用やIT関連投資は全業種DIを上回っています。医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



b. 来期の見通し (2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

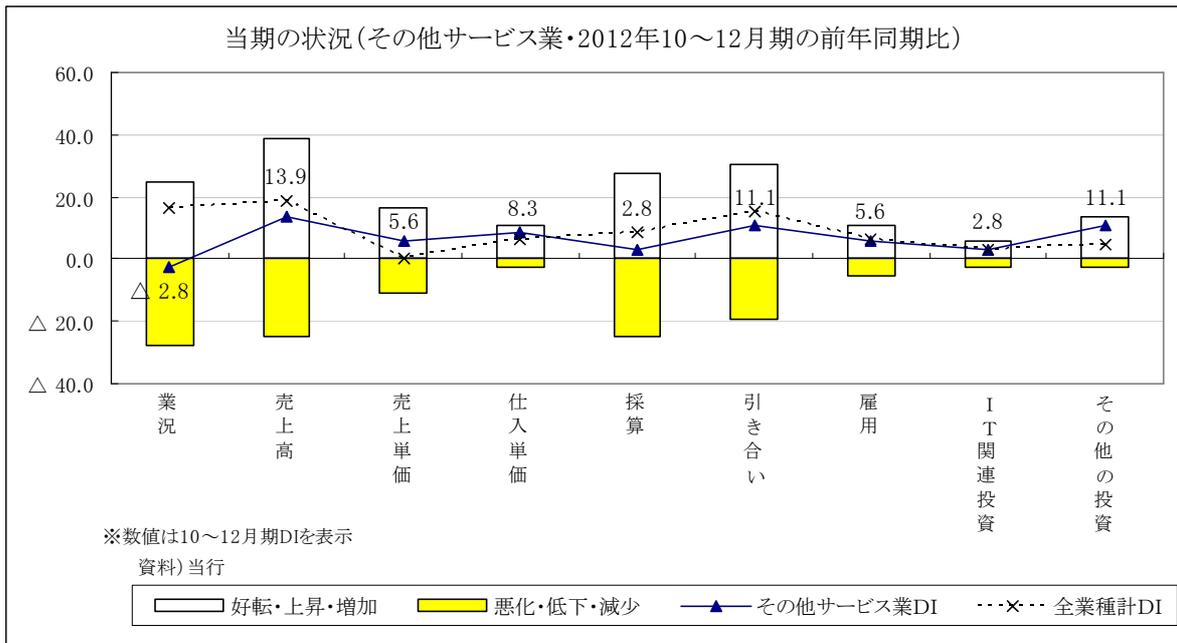
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、新施設の稼働効果に加え、季節的要因による患者数増加も予想され、売上高の増加や採算の好転が期待されます。医療施設の新設需要も引き続き見込まれ、設備投資の増加が予想されます。医療・福祉全体として引続き**業況の堅調さ**がみられます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

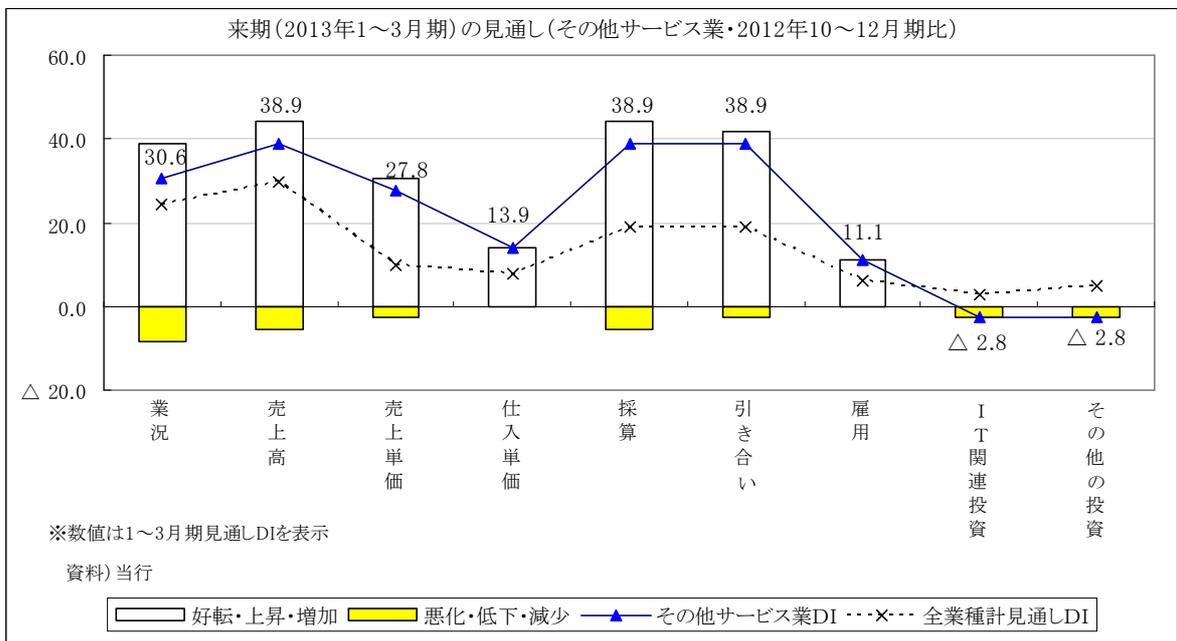
a. 当期の状況(2012年10~12月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、震災の影響があった昨年と比べ、ウェディング関連などで改善が見られます。一方で、台風や中国本土からの観光客減少の影響も一部で見られるほか、宿泊業では競合などによる厳しい環境を背景に、売上単価は僅かな上昇に留まっています。その他サービス業全体としては**業況の弱さ**がみられます。



b. 来期の見通し(2013年1~3月期の2012年10~12月期比)

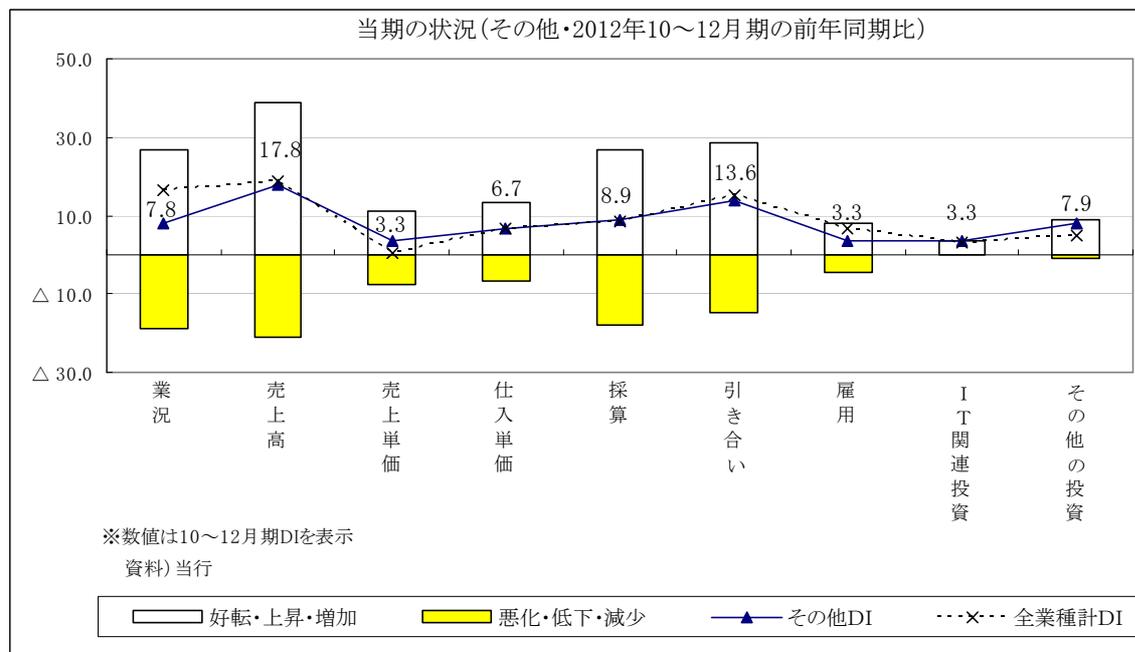
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光のオフシーズンとなり、設備投資は減少するものの、プロ野球キャンプ効果などにより売上高の増加が期待されます。また、日並びの良さなどから、年始の観光客増加による引き合いの改善も見込まれ、その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

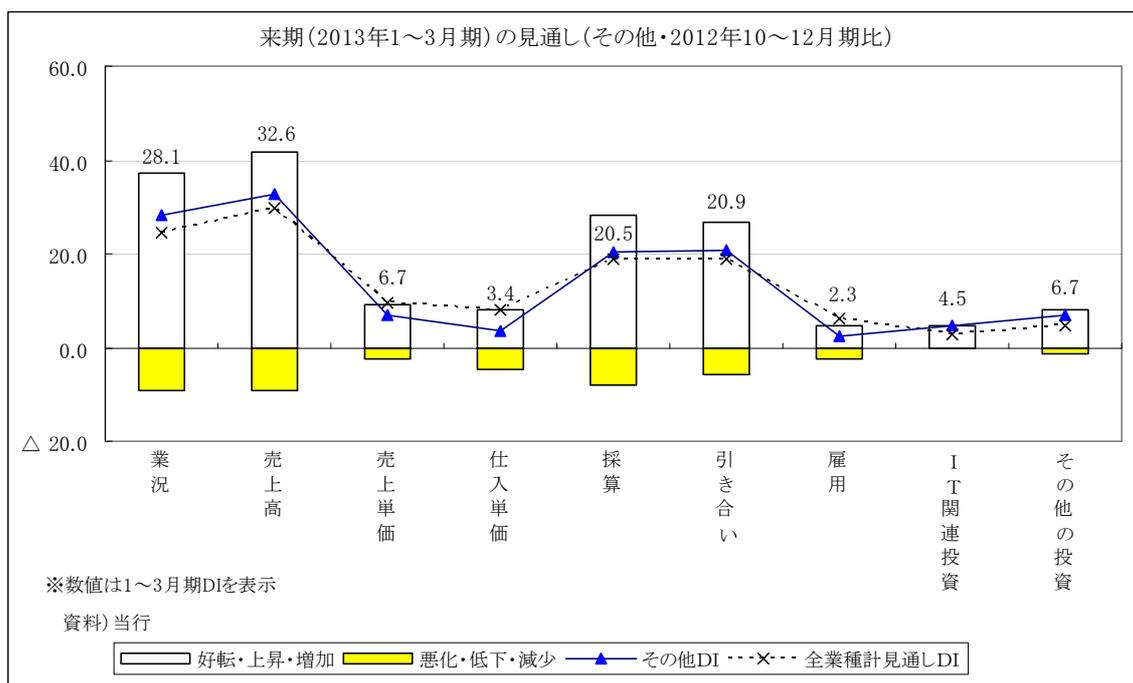
a.当期の状況(2012年10~12月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、不動産売買・管理業などにおいて、引き続き消費税増税に伴う駆け込み需要が見られます。また、離島などでは物流の増加などにより、運輸業において需要が増加しており、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b.来期の見通し(2013年1~3月期の2012年10~12月期比)

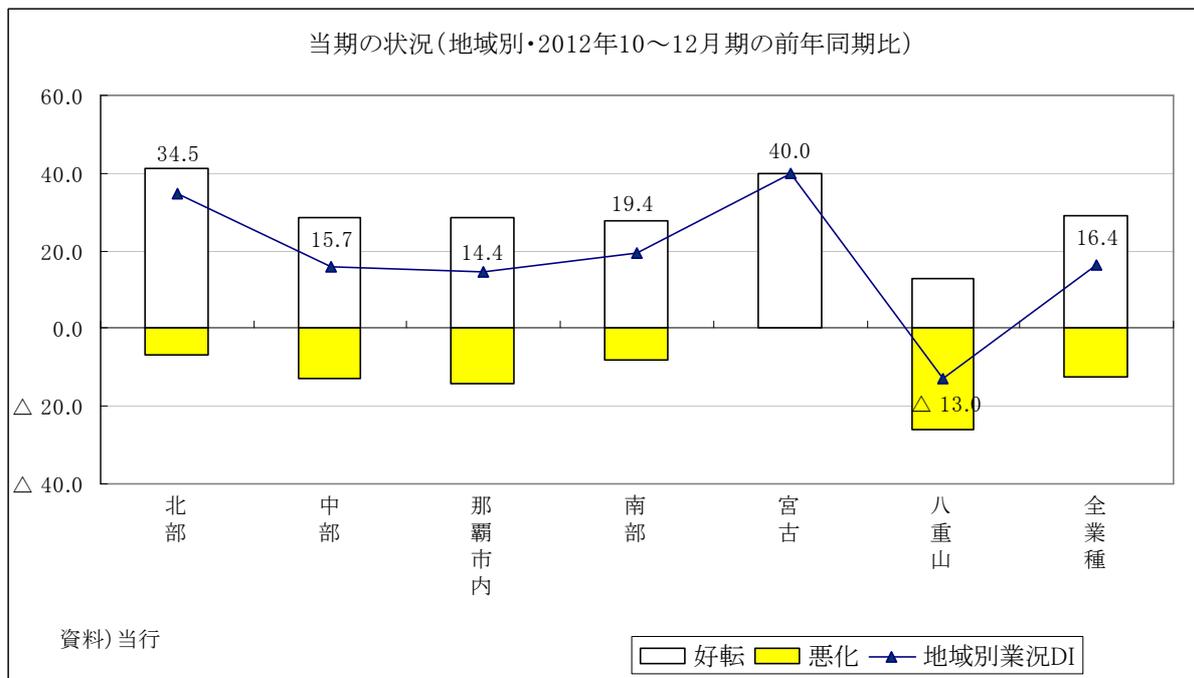
来期の見通し【その他】DIをみると、消費税増税に伴う駆け込み需要が続くことが予想されるほか、異動・進学に伴う需要の増加で、不動産業において売上高、引き合いの大幅な改善が期待されます。また、年度末に向けた公共・民間工事の増加によりリース業などの引き合い増加も見込まれ、その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

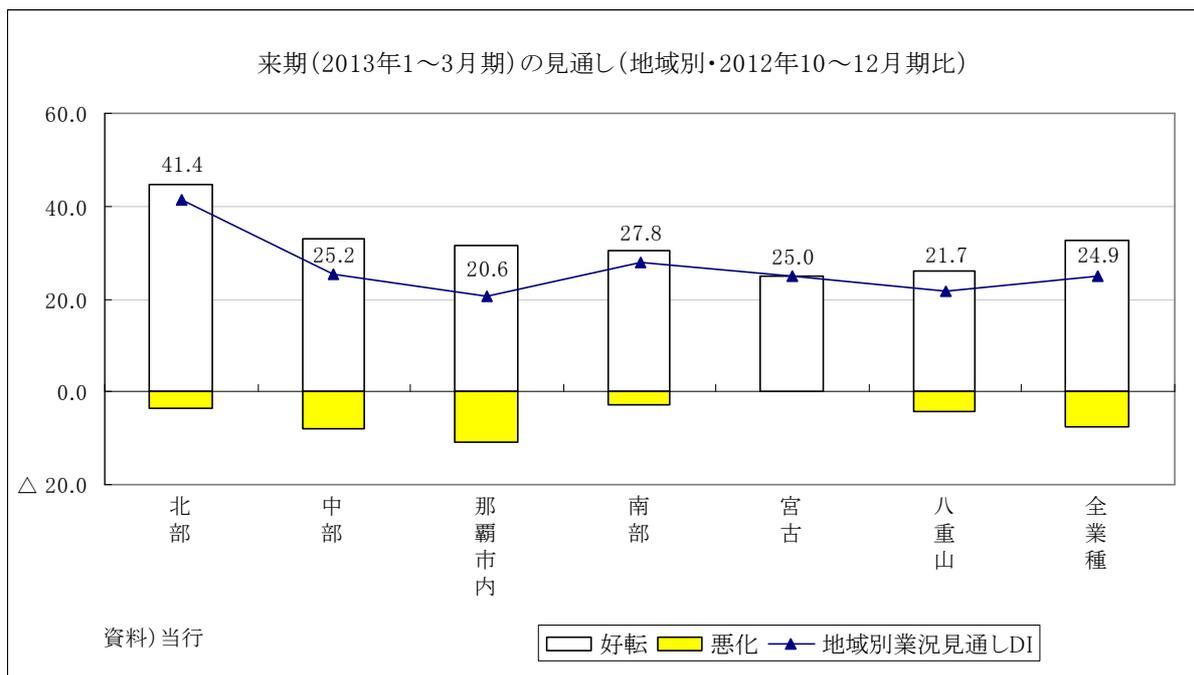
1. 当期の状況(2012年10～12月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、八重山地区では、観光関連における事業者間の競争激化を背景に悪化しているものの、それ以外の地域では改善の動きとなりました。中でも宮古地区や北部地区は、公共工事の受注増加などにより土木業など建設関連が好調で、業況が大きく改善しています。



2. 来期の見通し(2013年1～3月期の2012年10～12月期比)

来期の業況見通しDIをみると、年始や年度末のイベント需要のほか、年度末に向け公共工事の需要増加が見込まれるなど、季節的要因を背景に全地域で業況改善の動きがみられます。また、消費税増税に伴う駆け込み需要が続くことが予想され、不動産業や建築業などの好転も期待されます。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2012年10～12月期）の業況DI調査の結果は、一部、震災の影響が見られた前年同期比で16.4ポイントと業況改善の動きとなりました。
- ② 観光関連（小売業、その他サービス業、その他）では、入域観光客数が10月＝0.8%増、11月＝9.6%増（いずれも前年同月比）と堅調に推移している一方で、台風や中国本土からの観光客減少の影響が、運輸業や宿泊業などで一部みられます。
- ③ 建設関連（土木業、建築業）では、公共工事の増加などから業況は好転しています。一部で雇用の減少などが見られますが、民間工事（戸建住宅、アパート、太陽光関連設備設置工事等）や基地関連工事などの需要により業況改善の動きとなっています。また、消費税増税などを背景に建築業や不動産業では駆け込み需要も増加傾向にあります。
- ④ また、小売業では、スーパー・コンビニなどの新規出店効果により堅調に推移しています。
- ⑤ 卸売業については、一部震災の影響がみられた昨年と比べ、仕入環境が安定していることから好転しており、特に建設資材関連で業況改善の動きがみられます。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2013年1～3月期）の見通しDIについては、24.9ポイントとなりました。当期（2012年10～12月期）より改善されることが期待されます。
- ② 観光関連では、オフシーズンにより需要低下が懸念されますが、プロ野球キャンプや年末年始の大型連休効果などにより、業況改善の動きとなることが期待されます。一方で、競争激化による売上単価下落や中国人観光客減少の影響も、一部で続くことが予想されます。
- ③ 建設関連においては、年度末に向けての公共工発注増加が期待されます。また、消費税増税に伴う駆け込み需要などにより、民間工事も堅調に推移することが期待されます。
- ④ 小売業では、年末商戦からのピークアウトやエコカー補助金制度終了に伴う需要減少などが懸念されますが、新規出店効果や季節的要因（年度末、イベント需要）などにより業況の改善が期待されます。

